

8. 初交時の避妊法

初交時の避妊法について、男女共にコンドームが殆どであり男性は 321 名(90.4%)、女性は 345 名 (87.6%) であった。その次に続くのが膣外射精法であり男性 28 名 (7.9%)、女性 39 名 (9.9%) であり、その他の避妊法は総て 1%を下回っていた。また、年代別、未既婚別において避妊法が異なるようなところはみられなかった。

表 31-1. 世代別初交時の避妊法

F1	世代	コン ド ー ム	女 性 用 コ ン ド ー ム	膣 外 射 精	洗 浄 法	ピル	オ ギ ノ 式	こ の 中 に な い	無 回 答	総計
男性	25歳未満	91.5	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	47
	25-34歳	92.6	0.0	6.6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	122
	35-44歳	88.3	0.0	9.5	0.0	1.5	0.7	0.0	0.0	137
	45歳以上	89.8	0.0	8.2	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	49
男性計		90.4	0.0	7.9	0.0	0.8	0.3	0.6	0.0	355
女性	25歳未満	91.4	1.7	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58
	25-34歳	90.6	0.8	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	128
	35-44歳	81.6	0.0	14.9	0.7	0.0	0.7	0.7	1.4	141
	45歳以上	91.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67
女性計		87.6	0.5	9.9	0.3	0.0	0.3	0.3	1.3	394
総計		88.9	0.3	8.9	0.1	0.4	0.3	0.4	0.7	749

表 31-2. 未既婚別初交時の避妊法

F1	F5	コン ド ー ム	女 性 用 コ ン ド ー ム	膣 外 射 精	洗 浄 法	ピル	オ ギ ノ 式	こ の 中 に な い	無 回 答	総計
男性	未婚	94.8	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	171
	既婚	88.4	0.0	9.2	0.0	1.4	0.5	0.5	0.0	346
女性	未婚	91.1	0.9	5.4	0.0	0.0	0.9	0.0	1.8	168
	既婚	85.6	0.0	12.5	0.4	0.0	0.0	0.4	1.1	449

9. 初交時に避妊しなかった理由

初交時に避妊を行えなかった理由は、男性では「避妊具がなかった」が最も多く 39 名 (29.5%)、次に「面倒だ」19 名(14.4%)、「子どもができてかまわないと思った」16 名 (12.1%)と続いていた。女性では「自分のほうから避妊を言い出せなかった」が 42 名 (26.9%)、「避妊具がなかった」30 名(19.2%)、「妊娠しなかった」14.1%、「避妊についてよく知らなかった」12.8%と続いていた。

女性の「自分のほうから避妊を言い出せなかった」はどの世代にも高く男性に比べ有意差($p<0.001$)を認めた。また、「面倒だった」は男性において有意($p<0.01$)に高値を示していた。「出来てもかまわなかった」は有意差は認めないものの高齢になるほど高くなっていった。

表 32-1. 世代別初交時の避妊しなかった理由

F1	世代	よく知らなかった	言い出せなかった	相手に断れた	避妊具がなかった	出来てもかまわなかった	欲しかった	妊娠しなかったと思った	面倒だった	完璧なものはない	その他	無回答	総計
男性	25歳未満	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10
	25-34歳	7.7	3.8	3.8	42.3	7.7	0.0	11.5	15.4	0.0	3.8	3.8	26
	35-44歳	12.5	3.6	0.0	26.8	12.5	5.4	12.5	14.3	5.4	5.4	1.8	56
	45歳以上	7.5	2.5	5.0	25.0	17.5	2.5	5.0	17.5	5.0	12.5	0.0	40
男性計		10.6	3.8	3.8	29.5	12.1	3.0	10.6	14.4	3.8	6.8	1.5	132
女性	25歳未満	7.1	28.6	7.1	21.4	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	14
	25-34歳	17.9	25.6	2.6	23.1	5.1	0.0	17.9	2.6	0.0	5.1	0.0	39
	35-44歳	15.1	26.4	3.8	24.5	5.7	3.8	13.2	0.0	0.0	1.9	5.7	53
	45歳以上	8.0	28.0	0.0	10.0	20.0	14.0	12.0	2.0	0.0	6.0	0.0	50
女性計		12.8	26.9	2.6	19.2	9.6	5.8	14.1	2.6	0.0	4.5	1.9	156
総計		11.8	16.3	3.1	24.0	10.8	4.5	12.5	8.0	1.7	5.6	1.7	288

初交に関する小括

1. 初交年齢

初交の平均年齢は、男性で 19.0 ± 3.2 歳（12-37 歳）、女性 19.4 ± 3.3 歳（13-38 歳）であり男女間に有意差 ($p < 0.05$) を認めた。5 歳階級別でみると 20 歳未満男性は 15.8 ± 1.3 歳で、前回調査では 16.3 ± 0.9 歳からみると 0.5 歳早くなっていた。同様に 20-24 歳も 17.0 歳で、前回 17.8 歳に比べ 0.8 歳早くなっていた。その他の年代では前回とは殆ど変化は認められなかった。

各年代間では年代が増すことによって初交年齢は遅くなっており、このことは若い年代の初交開始時期が漸次早くなっていることが明らかとなった。

2. 初交時の印象

初交時の認識として「重大なこと」として深刻に受け止めるものが、男性で 63.2%、女性 76.3% と女性の方がより深刻 ($p < 0.001$) に受け止めていることが明らかであった。世代別でも男女とも高世代になるにつれ「重大なこと」として深刻に受け止めるものが高くなっていた。

3. 初交相手と知り合ったきっかけ

初交相手と知り合った切っ掛けは、男女ともに「友人・知人の紹介」であり、次いで、「同級生・同校生」であった。この「同級生・同校生」を未既婚別でみると男性では既婚者が未婚に比べ有意 ($p < 0.05$) に多く、女性は既婚に比べ未婚者に多いと有意差 ($p < 0.01$) を認めた。このことは、未婚男性の平均年齢が未婚女性よりも高いために「友人・知人」の方に移行していたことによると思われた。

4. 初交の相手との関係性

恋人関係が男性 57%、女性 63% であり、「なんとなく」が男性 14%、女性 11% で、「相手と結婚した」は男性 3%、女性 9% と低値であった。この「相手と結婚した」は 45 歳以上の女性では 23% と高値を示し、他の若い世代に比べ有意差 ($p < 0.001$) を認めた。

5. 初交時の印象

「うれしかった」と感じたものは男性で 44%、女性 23% と男性に有意に高値を示しており、世代別女性では、そのうれしさもより低値となっていた。次に、「何とも感じなかった」だ男女とも約 10%、「期待はずれ」男性 10%、女性 8%、「肩の荷がおりた」男性 9%、女性 7%、「虚しかった」男性 2%、女性 7% と女性が有意に高値であったことと「この中がない」が女性 37% と男性に比べ有意に高値であったことから、より複雑な印象を抱いていたのではないかと推察する。

初交後の印象としては、男性は「うれしかった」が多く、女性も同様に多いものの男性の半数ほどで、女性で「虚しかった、後悔した」が他の 3 項目より低値であるものの

男性に比べ有意差を認めたことと「この中いない」が37.2%と男性よりも有意に高値であったことから、他の4項目の中に該当しない、より複雑な印象を持っていたものと思われた。

6. 初交迄の交際期間と初交後の交際期間

出会いから初交に至るまでの交際期間は、男女とも3ヶ月未満が最も多く、24%と21%であり、次いで男性は1ヶ月未満19%、女性は1年未満19%であった。当日は男性11%、女性3%と男性が高く有意差($p<0.001$)を認めた。

初交後の交際期間は男性が3年未満18%、1年未満18%、5年以上13%であった。女性は5年以上28%、3年未満20%、1年未満が15%と女性の交際期間が男性に比べ長くなっていることが窺われた。

男性と女性の初交までの交際期間と初交後の交際期間も違いは、既婚女性が異性と付き合うイメージを「ひとりにしぼられた特定の相手との関係」考えるものが多く、受動的女性の立場が窺われた。

異性との初交までの交際期間と初交後の交際期間からみると、セックスという性行為を優先して考え付き合っているように思われた。

7. 初交時の避妊実行率

初交時の避妊実効率は、男性65.6%、女性58.6%と男性が有意($p<0.05$)に高値であり、ともに若い世代が高値となっていた。また、「わからない」が女性に高く有意差($p<0.001$)を認めた。このことは、初交時の避妊法が「コンドーム」と「膣外射精法」という男性主導の避妊法のためか、相手任せの避妊法であったためか、いずれかで高くなっていたものと推察される。

8. 初交時の避妊法

初交時の避妊法として「コンドーム」が主体となっており男性90%、女性88%、次いで多いのが「膣外射精法」で男性8%、女性10%といずれもが男性主導の避妊法が取られていた。

初交時に避妊しなかった理由

初交時に避妊をしなかった理由として男性は「避妊具がなかった」30%、「面倒」14%であり、女性は「言い出せなかった」27%、「避妊具がなかった」19%、「妊娠しないと思った」14%と続いており、いずれにしても女性は相手任せの避妊という考えが伺われた。

避妊の実行率や避妊法、また、避妊できなかった理由から、現存する避妊法が「コンドーム」や「膣外射精法」という男性主導型の避妊法に大きく未だ委ねられていることが明らかとなった。

これらのことが、10歳代の人工妊娠中絶が増え続けている背景と最近のわが国の婚

姻形態として「できちゃった結婚」が増加している要因の一つにあげられるのではないかと考えられるし、20歳代後半から30歳前半に離婚者数の増加傾向の表れに寄与しているのではと思われた。

V. 現在の避妊について

1. 現在の性交頻度について

普段の性交頻度について問いかけているが、これによると男性は「月に2-3回」が最も多く123名(22.7%)、「週1回」112名(20.7%)、「月1回未満」111名(20.5%)の順であった。これに対し女性は、「月に2-3回」が162名(24.1%)、「普段セックスをしない」129名(19.2%)、「月1回未満」117名(17.4%)、「週1回」101名(15.0%)の順であった。

これを世代間でみると男性は最も高いのが25歳未満で「普段セックスをしない」23.7%、25-34歳は「週1回以上」27.4%、35-44歳「月に2-3回」34.3%、45歳以上「月1回未満」32.0%であった。女性は25歳未満、25-34歳、35-44歳で「月2-3回」が26.5%、27.3%、24.3%と高く、45歳以上では「月1回未満」が24.6%であった。

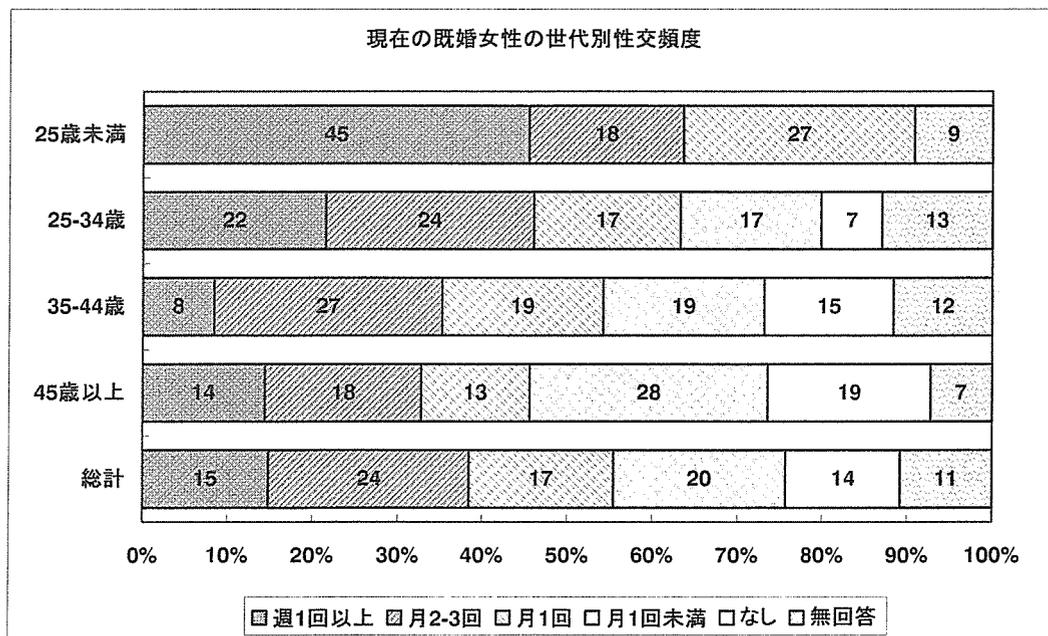
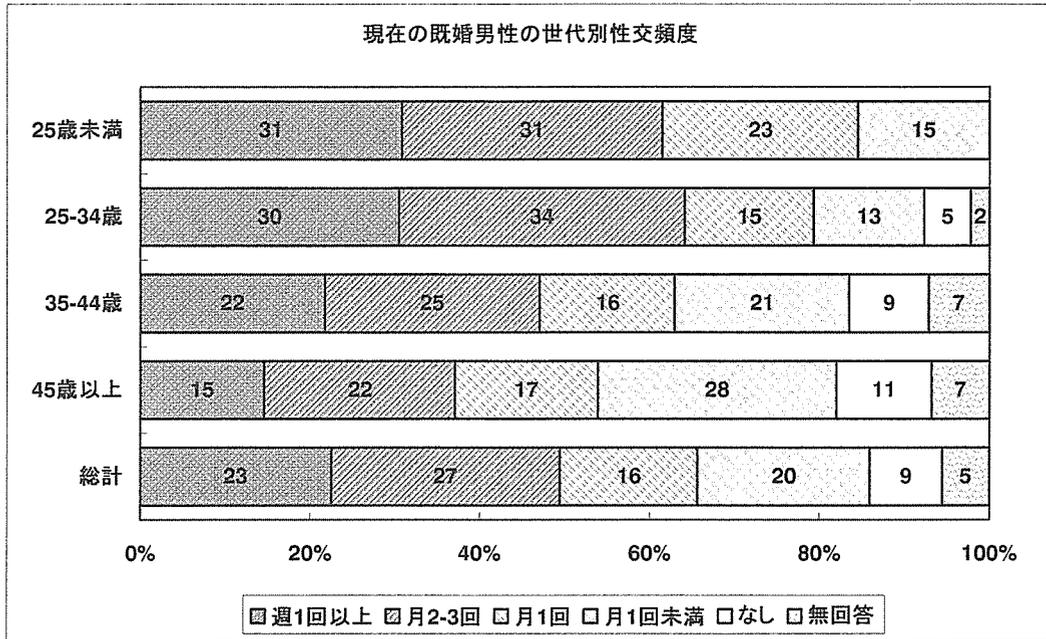
表 31-1. 世代別性交の頻度

F1	世代	>1W	2-3/M	1M	<M	NO	無回答	総計
男性	25歳未満	11(18.6)	11(18.6)	10(16.9)	11(18.6)	14(23.7)	2(3.4)	59
	25-34歳	45(27.4)	39(23.8)	22(13.4)	25(15.2)	23(14.0)	10(6.1)	164
	35-44歳	46(21.1)	53(24.3)	33(15.1)	43(19.7)	27(12.4)	16(7.3)	218
	45歳以上	10(10.0)	20(20.0)	17(17.0)	32(32.0)	14(14.0)	7(7.0)	100
男性計		112(20.7)	123(22.7)	82(15.2)	111(20.5)	78(14.4)	35(6.5)	541
女性	25歳未満	19(22.9)	22(26.5)	11(13.3)	9(10.8)	19(22.9)	3(3.6)	83
	25-34歳	38(18.5)	56(27.3)	30(14.6)	30(14.6)	27(13.2)	24(11.7)	205
	35-44歳	28(11.4)	60(24.4)	40(16.3)	44(17.9)	47(19.1)	27(11.0)	246
	45歳以上	16(11.6)	24(17.4)	16(11.6)	34(24.6)	36(26.1)	12(8.7)	138
女性計		101(15.0)	162(24.1)	97(11.6)	117(17.4)	129(19.2)	66(9.8)	672
総計		213(17.6)	285(23.5)	179(14.8)	228(18.8)	207(17.1)	101(8.3)	1213

未既婚別でみると男性の「月2-3回」が未婚で26名(15.2%)が既婚では94名(27.2%)と両者間に有意差($p<0.01$)を認めた。また、「月1回未満のセックスレス」と「セックスをしない」をみると既婚男性は100名(28.9%)であり、未婚男性の44.9%より低く有意差($p<0.001$)を認めたが、全体の4分の1以上を占めていた。女性の「月2-3回」が未婚で44名(26.2%)、既婚107名(23.6%)と両者間に有意な差は認めなかったものの、「月一回」が未婚女性よりも有意($p<0.05$)高値を示し、「月一回未満」と「セックスをしない」というセックスレスをみると既婚女性151名(33.6%)であり、未婚女性では71名(42.3%)で、後者が高値を示すものの有意差は認めなかった。

表 31-2. 未既婚別性交の頻度

F1	F5	>1W	2-3/M	1M	<M	NO	無回答	総計
男性	未婚	18.1	15.2	12.3	18.7	25.7	7.6	171
	既婚	22.0	27.2	16.5	20.5	8.4	5.5	346
女性	未婚	16.7	26.2	9.5	13.1	29.2	29.8	168
	既婚	14.3	23.8	17.1	20.0	13.6	11.1	449



2. 避妊に関するパートナーとの係わり合い

避妊やその方法について相手とよく話し合っているかとの問いに、男性はよく相談していると答えたのは 179 名 (33.1%)、女性 270 名 (40.2%) と後者が有意($p<0.05$)に多く、あまり相談していないは男性 226 名(41.8%)、女性 242 名(36.0%)、全く相談していないが男性 113 名 (20.9%)、女性 107 名 (15.9%) と共に両者間で有意差 ($p<0.05$) を認めた。

表 32-1. 世代別避妊に関するパートナーとの相談

F1	世代	よく相談する	あまり相談しない	全く相談しない	無回答	総計
男性	25 歳未満	19(32.2)	31(52.5)	8(13.6)	1(1.7)	59
	25-34 歳	51(31.1)	75(45.7)	33(20.1)	5(3.0)	164
	35-44 歳	74(33.9)	87(39.9)	47(21.6)	10(4.6)	218
	45 歳以上	35(35.0)	33(33.0)	25(25.0)	7(7.0)	100
男性計		179(33.1)	226(41.8)	113(20.9)	23(4.3)	541
女性	25 歳未満	27(32.5)	48(57.8)	6(7.2)	2(2.4)	83
	25-34 歳	92(44.9)	77(37.6)	22(10.7)	14(6.8)	205
	35-44 歳	93(37.8)	79(32.1)	47(19.1)	27(11.0)	246
	45 歳以上	58(42.0)	38(27.5)	32(23.2)	10(7.2)	138
女性計		270(40.2)	242(36.0)	107(15.9)	53(7.9)	672
総計		449(37.0)	468(38.6)	220(18.1)	76(6.3)	1213

未既婚についてみると未婚男性は既婚男性に比べより多く話し合っているものが多く有意差($p<0.01$)を認めたが、女性は相談しているものが既婚者に多いが有意差は認めなかった。

未婚男性と未婚女性との間で後者がよく相談していることで有意差($p<0.05$)を認めた。

表 32-2. 未既婚別避妊に関するパートナーとの相談

F1	F5	よく相談する	あまり相談しない	全く相談しない	無回答	総計
男性	未婚	22.8	52.6	21.6	2.9	171
	既婚	37.6	37.9	20.2	4.3	346
女性	未婚	36.3	45.2	10.1	8.3	168
	既婚	42.3	33.6	17.4	6.7	449

3. 避妊の状況について

「いつも避妊をしている」のは男性で 235 名(43.4%)、女性 272 名(40.5%)、「避妊をしたりしなかったりしている」男性 104 名(19.2%)、女性 129 名(19.2%)、「避妊をしていない」男性 76 名(14.0%)、女性 113 名 (16.8%)、「セックスをしていない」男性 76 名(14.0%)、女性 127 名(18.9%)であり、「セックスをしていない」において男女間に有意差($p<0.05$)を認めた。

世代別では「避妊をいつもしている」が男性では高齢になるにつれ減少し、女性は増加していた。「セックスをしない」は男性が 25 歳未満で 20.3%と高く、25-34 歳が 9.8%と最も

少なく、それ以降は年齢とともに増えていた。女性も25歳未満が15.7%と高いものの25-34歳13.2%と少なく、それ以降上昇していた。

表 33-1. 世代別避妊の状況

F1	世代	避妊している	避妊したりしなかったり	避妊はしない	セックスしない	無回答	総計
男性	25歳未満	29(49.2)	13(22.0)	4(6.8)	12(20.3)	1(1.7)	59
	25-34歳	71(43.3)	31(18.9)	42(25.6)	16(9.8)	4(2.4)	164
	35-44歳	93(42.7)	42(19.3)	45(20.6)	30(13.8)	8(3.7)	218
	45歳以上	42(42.0)	18(18.0)	16(16.0)	18(18.0)	6(6.0)	100
男性計		235(43.4)	104(19.2)	107(19.8)	76(14.0)	19(3.5)	541
女性	25歳未満	29(34.9)	28(33.7)	12(14.5)	13(15.7)	1(1.2)	83
	25-34歳	71(34.6)	52(25.4)	46(22.4)	27(13.2)	9(4.4)	205
	35-44歳	103(41.9)	36(14.6)	40(16.3)	50(20.3)	17(6.9)	246
	45歳以上	69(50.0)	13(9.4)	15(10.9)	37(26.8)	4(2.9)	138
女性計		272(40.5)	129(19.2)	113(16.8)	127(18.9)	31(4.6)	672
総計		507(41.8)	233(19.2)	220(18.1)	203(16.7)	50(4.1)	1213

未既婚別でみると、男性の未既婚では「いつもしている」「するときとしないとき」の間では両群間で有意差は認めないものの「避妊をしない」が未婚男性13名(7.6%)、既婚男性91名(26.3%)と後者が有意($p<0.001$)に高かった。セックスをしないも男性の未既婚間で有意差($p<0.001$)を認めた。

女性での「いつもする」「するときとしないとき」の間では両群間で有意差は認めないものの「避妊をしない」が既婚で19.8%、未婚8.9%に比べ有意差($p<0.01$)を認め、セックスをしないも男性同様、未婚者に多く有意差($p<0.01$)を認めた。

表 33-2. 未既婚別避妊の状況

F1	F5	避妊している	避妊したりしなかったり	避妊はしない	セックスしない	無回答	総計
男性	未婚	52.0	16.4	7.6	22.2	1.8	171
	既婚	39.6	20.2	26.3	10.4	3.5	346
女性	未婚	41.7	22.0	8.9	25.0	2.4	168
	既婚	41.2	18.9	19.8	15.1	4.9	449

4. 避妊をあまり考えない人の妊娠への心配事

「避妊をしたり、しなかったり」および「避妊はしない」と答えたものに「もしかしたら妊娠するかもしれない」という心配度について問いかけている。「とても心配」は男性 17 名 (8.1%)、女性 25 名 (10.3%)、「少し心配」をあわせると男性 90 名 (42.7%)、女性 122 名 (50.4%) と女性に高いものの有意差は認めなかった。逆に、「全く心配しない」男性 55 名 (26.1%)、女性 47 名 (19.4%) と男性に高いものの男女間に有意差は認められなかった。

表 34-1. 世代別避妊未実行者の妊娠に対する心配度

F1	世代	とても心配	少し心配	あまり心配 しない	全く心配 しない	無回答	総計
男性	25 歳未満	2(11.8)	11(64.7)	1(5.9)	2(11.8)	1(5.9)	17
	25-34 歳	10(13.7)	24(32.9)	13(17.8)	22(30.1)	4(5.5)	73
	35-44 歳	4(4.6)	26(29.9)	28(32.2)	23(26.4)	6(6.9)	87
	45 歳以上	1(2.9)	12(35.3)	12(35.3)	8(23.5)	1(2.9)	34
男性計		17(8.1)	73(34.6)	54(25.6)	55(26.1)	12(5.7)	211
女性	25 歳未満	8(20.0)	24(60.0)	3(7.5)	3(7.5)	2(5.0)	40
	25-34 歳	8(8.2)	35(35.7)	26(26.5)	22(22.4)	7(7.1)	98
	35-44 歳	6(7.9)	26(34.2)	22(28.9)	17(22.4)	5(6.6)	76
	45 歳以上	3(10.7)	12(42.9)	7(25.0)	5(17.9)	1(3.6)	28
女性計		25(10.3)	97(40.1)	58(24.0)	47(19.4)	15(6.2)	242
総計		42(9.3)	170(37.5)	112(24.7)	102(22.5)	27(6.0)	453

未既婚別に妊娠の心配については、男女ともに既婚者は心配するものが有意($p<0.001$)に少なく、心配しないのが有意($p<0.001$)に高値であった。

表 34-2. 未既婚別避妊未実行者の妊娠に対する心配度

F1	F5	とても心配	少し心配	あまり心配 しない	全く心配 しない	無回答	総計
男性	未婚	19.5	48.8	12.2	14.6	4.9	41
	既婚	5.6	29.8	29.2	29.2	6.2	161
女性	未婚	17.3	67.3	1.9	5.8	7.7	52
	既婚	6.9	31.6	32.2	23.6	5.7	174

5. 避妊をしない理由

「避妊をしていない」理由について聞いている。男性の多い順では、「子どもができてかまわない」が 45 名 (21.3%) で 35-44 歳が 24.1% と最も高かった。次に多いのが「子どもが欲しい」が 44 名 (20.9%) で、25-34 歳が 30.1% と高かった。「妊娠しないと思う」39 名 (18.5%)、「面倒だ」20 名 (9.5%) と続いていた。

女性の多い順では、「子どもが欲しい」が55名(22.7%)で、25-34歳が33.7%、35-44歳27.6%、の順であった。次に、「子どもができてかまわない」が50名(20.7%)で、同様に25-34歳25.5%であった。「妊娠しないと思った」が37名(16.8%)で、45歳以上が46.4%と半数近くを占めていた。

表 35-1. 世代別避妊未実行者の理由

F1	世代	よく知らない	言い出せない	断られる	避妊具がない	子どもが出来ても	子どもが欲しい	妊娠しないと思う	面倒だ	完璧な避妊法はない	その他	無回答	総計
男性	25歳未満	0.0	0.0	11.8	5.9	17.6	17.6	17.6	11.8	11.8	0.0	5.9	17
	25-34歳	1.4	1.4	1.4	5.5	20.5	30.1	12.3	15.1	0.0	5.5	6.8	73
	35-44歳	1.1	0.0	2.3	9.2	24.1	19.5	20.7	3.4	2.3	8.0	9.2	87
	45歳以上	0.0	0.0	2.9	11.8	17.6	5.9	26.5	11.8	2.9	14.7	5.9	34
男性計		0.9	0.5	2.8	8.1	21.3	20.9	18.5	9.5	2.4	7.6	7.6	211
女性	25歳未満	5.0	7.5	5.0	20.0	20.0	2.5	7.5	15.0	2.5	2.5	12.5	40
	25-34歳	1.0	5.1	4.1	3.1	25.5	33.7	9.2	6.1	1.0	2.0	9.2	98
	35-44歳	0.0	3.9	7.9	2.6	19.7	27.6	15.8	3.9	1.3	6.6	10.5	76
	45歳以上	0.0	10.7	3.6	3.6	7.1	0.0	46.4	0.0	0.0	25.0	3.6	28
女性計		1.2	5.8	5.4	5.8	20.7	22.7	15.3	6.2	1.2	6.2	9.5	242
総計		1.1	3.3	4.2	6.8	21.0	21.9	16.8	7.7	1.8	6.8	8.6	453

未既婚別では、男女とも「子どもが欲しい」という理由で既婚者に有意($p < 0.05$, $p < 0.001$)に高値を示したことは当然のことといえよう。

表 35-2. 未既婚別避妊未実行者の理由

F1	F5	よく知らない	言い出せない	断られる	避妊具がない	子どもが出来ても	子どもが欲しい	妊娠しないと思う	面倒だ	完璧な避妊法はない	その他	無回答	総計
男性	未婚	2.4	0.0	7.3	12.2	17.1	7.3	17.1	22.0	4.9	4.9	4.9	41
	既婚	0.0	0.6	1.9	7.5	23.6	25.5	18.0	6.2	1.2	6.8	8.7	161
女性	未婚	3.8	9.6	3.8	17.3	11.5	3.8	11.5	15.4	1.9	5.8	15.4	52
	既婚	0.6	3.4	5.2	2.9	24.7	29.9	16.1	4.0	0.6	5.2	7.5	174

6. 避妊の方法

普段のセックスの際に行っている避妊法はという問いかけに、男性はコンドームがやはり主流で307名(90.6%)であり、次に来るものが膈外射精50名(14.7%)である。そのほか

は1%台で、BBT1.2%、オギノ式 2.1%、ピル 0.3%、女性の不妊手術 0.9%と続いていた。女性は同じようにコンドーム 332名(82.8%)、膈外射精 67名(16.7%)、BBT15名(3.7%)、オギノ式 13名(3.2%)、女性の不妊手術が 8名(2.0%)であり、その他は IUD1.5%、ピル 1.2%と続いていた。

表 36-1. 世代別避妊法の使用状況

F1	世代	コン ド ー ム	女 性 用 コ ン ド ー ム	オ ギ ノ 式	BBT	膈 外 射 精	洗 浄 法	殺 精 子 剤	IUD	ピ ル	男 性 手 術	女 性 手 術	無 回 答	総計
男性	25歳未満	97.6	2.4	0.0	0.0	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42
	25-34歳	90.2	1.0	0.0	2.9	9.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	2.0	102
	35-44歳	89.6	0.0	3.0	0.0	18.5	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	1.5	1.5	135
	45歳以上	88.3	0.0	5.0	1.7	18.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60
男性計		90.6	0.6	2.1	1.2	14.7	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.9	1.2	339
女性	25歳未満	93.0	0.0	1.8	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	57
	25-34歳	86.2	0.0	2.4	3.3	18.7	0.0	0.0	0.8	2.4	0.0	0.8	3.3	123
	35-44歳	77.0	0.0	2.9	5.8	15.8	0.0	0.7	2.9	0.7	0.0	3.6	2.9	139
	45歳以上	80.5	1.2	6.1	3.7	17.1	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	2.4	1.2	82
女性計		82.8	0.2	3.2	3.7	16.7	0.0	0.2	1.5	1.2	0.2	2.0	2.7	401
総計		86.4	0.4	2.7	2.6	15.8	0.0	0.1	0.8	0.8	0.1	1.5	2.0	740

未既婚別でみると、男性ではコンドームの使用が未婚 112名(95.7%)に対し既婚 180名(87.0%)であり、膈外射精が未婚 11名(9.4%)、既婚 39名(18.8%)と安易な避妊法に移行しているようであった。女性でみるとコンドームは未婚 100名(93.5%)、既婚 212名(78.5%)と未婚者のコンドーム使用率が有意(p<0.001)に高率であった。膈外射精は未婚 14名(13.1%)、既婚 48名(17.8%)、BBT 未婚 3名(0.9%)、既婚 12名(4.4%)、オギノ式未婚 4名(3.7%)、既婚 9名(3.3%)であった。尚、ピルは未婚 1.9%、既婚 1.1%であり、IUDは既婚女性のみで 4名(1.5%)であった。不妊手術は未婚 1名(0.9%)、既婚 6名(2.2%)であった。

表 36-2. 未既婚別避妊法の使用状況

F1	F5	コン ド ム	女性 用コ ンド ーム	オギ ノ式	BBT	膣外 射精	洗浄 法	殺精 子剤	IUD	ピル	男性 手術	女性 手術	無回 答	総計
男性	未婚	95.7	1.7	0.9	0.9	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	117
	既婚	87.0	0.0	2.4	1.4	18.8	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	1.4	1.4	207
女性	未婚	93.5	0.0	3.7	2.8	13.1	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.9	2.8	107
	既婚	78.5	0.4	3.3	4.4	17.8	0.0	0.4	1.5	1.1	0.4	2.2	3.0	270

V. 現在の避妊についての小括

1. 現在の性交頻度

男性は月 2-3 回が多く 23%、週 1 回以上が 21%であり、月 1 回未満 21%、セックスなしが 14%であり、女性は月 2-3 回 24%、週 1 回以上 15%、月 1 回未満 19%、なしが 17%と女性の性交頻度がやや下回っていた。

未既婚別でみると、週 1 回以上は未婚男性 18%に対し既婚者は 22%であり、女性の未婚 17%、既婚 14%と逆転していた。また、既婚者のセックスレスといわれる月 1 回未満は男性 21%、女性 20%とほぼ同率であった。

既婚者の世代別性交頻度についてみても、25-34 歳の性成熟期既婚者男性の月 1 回、月 1 ヶ月未満とセックスなしをみると 34%であり、女性もほぼ同様に 31%、35-44 歳の性成熟期後半では男性 44%、女性 53%と妊娠・出産という可能性は極めて低くなっている現状が、ここでも窺われた。

男性は結婚することによって性交頻度は上昇するが、女性は逆に減少していた。結婚という事象は家庭を築いていくという社会的通念の基盤である性交に対する考えに男女間にずれが生じ始めてきているように思われる。

2. 避妊に関するパートナーとのかかわり

性交時における避妊やその方法にお互いがよく話し合っているか否かについてみると「よく相談する」が男性 33%、女性 40%と女性が高く、未既婚でも男性 38%に対し女性 42%と避妊ということに関し女性の方がより強く懸念していることが明らかとなった。特に、未婚男性に比べ未婚女性のほうが避妊についてよく相談していることが明らかとなった。

3. 避妊の状況について

「いつも避妊をしている」が男性 43%、女性 41%、「避妊をしない」20%に対し女性 17%と女性の方があまり避妊ということにこだわっていないようにみうけられ、さらに、未既婚別でみると男性は「いつも避妊をしている」が未婚で 52%に対し既婚 40%、女性 42%と 41%のほぼ同率であり、「避妊をしない」が既婚男性 26%に対し既婚女性

は 20%と男性に有意($p<0.05$)に高かったことは、「妊娠」から「子ども」という考えが男性に強いことが示唆された。

4. 避妊をあまり考えない人の妊娠への心配事

避妊をしていない人たちの「妊娠への心配」について問いかけると、心配しているが「とても心配」「少し心配」を含め、男性 43%、女性 50%であり、未婚男性では 68%、未婚女性 85%と高値を示していた。

避妊をしていないにも関わらず「妊娠への心配」を多くの未婚者が心配しているという、この現象は「できちゃった結婚」が急増しているわが国の状況に呼応しているように窺われた。

5. 避妊をしていない理由

男性では「子どもができてかまわない」「子どもが欲しい」「妊娠しないと思う」という順であり、女性は「子どもが欲しい」「子どもができてかまわない」「妊娠しないと思う」の順であったが、既婚者では当然のことながら子どもを意識しての避妊未実行という考えが窺われた。未婚男性では「面倒だ」22%、「避妊具がなかった」12%であり、未婚女性「避妊具がなかった」17%と「面倒」15%と高値を示していた。

この未婚者における二項目の理由は、避妊法として「コンドーム」のみという考えでいるため、その後の結果のことをあまり考慮していない性行為と捉えているようであった。

6. 避妊法の実際

男性は「コンドーム」91%、「膣外射精法」15%であり、世代別では 35 歳未満までは膣外射精は 10%であったのが、35 歳以上になると 20%近くを占めていた。女性「コンドーム」83%、「膣外射精法」17%であり、世代にあまりかわりなく膣外射精は高値を占めていた。未既婚別でみると男女ともに膣外射精法をとるものが多かった。

ピルの使用は未婚女性が 1.9%で BBT 法よりも低値であり、未だピルへの意識は浸透していないことが窺われた。

VI. コンドームに対する認識

1. コンドームの使用状況（特定パートナーに対して）

コンドーム使用者における交際相手（配偶者含む）とのセックス時の使用状況について問いかけたところ、「必ず使用」は男性 177 名（57.7%）、女性 183 名（55.0%）、「時々使用」男性 76 名（24.8%）、女性 78 名（23.4%）、「殆ど使用しない」男性 13.4%、女性 16.5% であり、世代別では男性の 25 歳未満が 65.9%と高値を示しており、「殆ど使用しない」は高齢になるほど上昇していた。女性では「必ず使用」が 35-45 歳で高く 61.7%であった。また、女性の 25-34 歳で「殆ど使用しない」24.5%と高値を示していた。

表 37-1. 世代別交際相手に対するコンドーム使用状況

F1	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用しない	交際相手はいない	無回答	総計
男性	25 歳未満	65.9	24.4	4.9	2.4	2.4	41
	25-34 歳	57.6	30.4	7.6	3.3	1.1	92
	35-44 歳	54.5	22.3	18.2	0.8	4.1	121
	45 歳以上	58.5	20.8	18.9	0.0	1.9	53
男性計		57.7	24.8	13.4	1.6	2.6	307
女性	25 歳未満	52.8	28.3	11.3	3.8	3.8	53
	25-34 歳	45.3	23.6	24.5	0.9	5.7	106
	35-44 歳	61.7	24.3	11.2	0.9	1.9	107
	45 歳以上	61.2	17.9	16.4	1.5	3.0	67
女性計		55.0	23.4	16.5	1.5	3.6	333
総計		56.3	24.1	15.0	1.6	3.1	640

未既婚別では「必ず使用」が男女とも未婚者に多く、「殆ど使用しない」は既婚者に多く、男性の未婚に比べ有意差(p<0.001)を認めしたが、女性の未婚者では有意差は認めなかった。

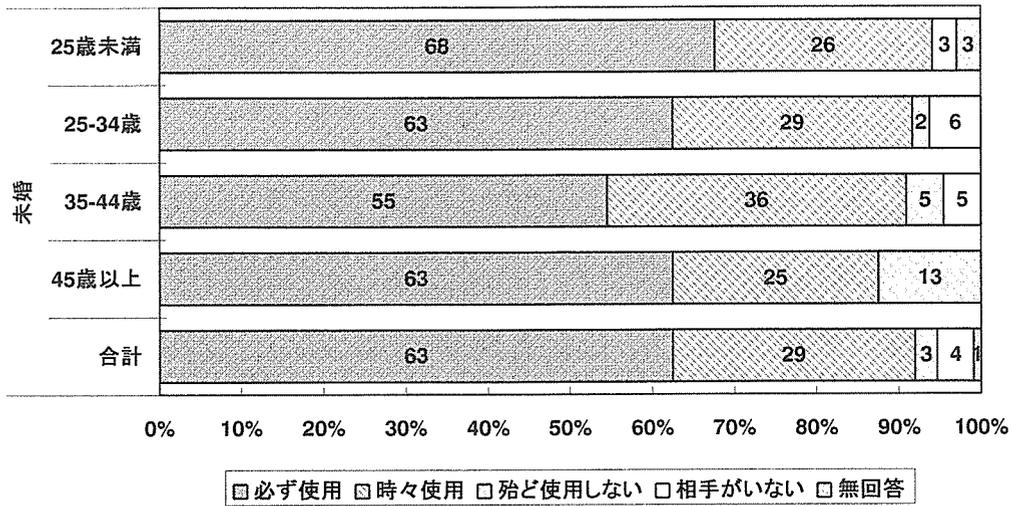
表 37-2. 未既婚別交際相手に対するコンドーム使用状況

F1	F5	必ず使用	時々使用	殆ど使用しない	交際相手はいない	無回答	総計
男性	未婚	62.5	29.5	2.7	4.5	0.9	112
	既婚	55.0	21.7	19.4	0.0	3.9	180
女性	未婚	57.0	22.0	13.0	4.0	4.0	100
	既婚	54.9	24.9	17.4	0.0	2.8	213

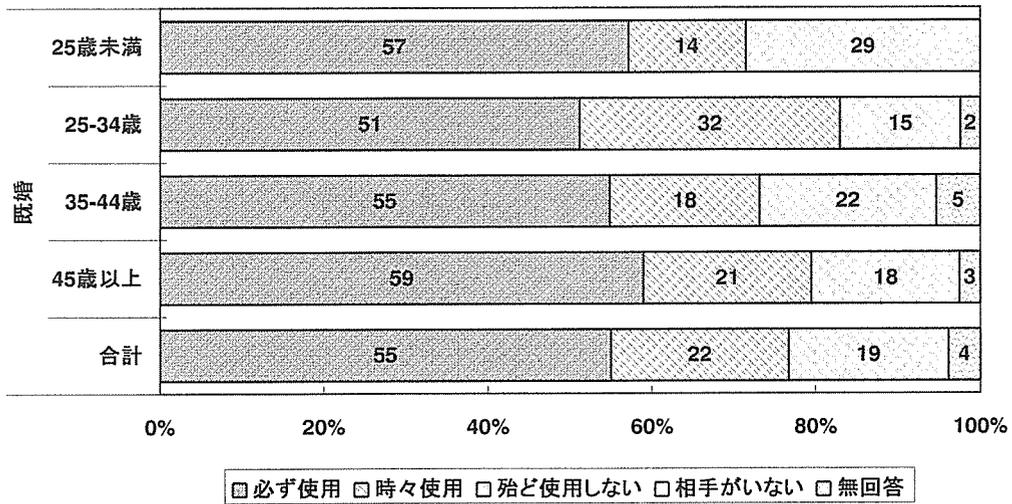
男性と女性の未既婚世代別コンドームの使用状況をグラフ化したものが次の図であるが、既婚男性では 25-34 歳の必ず使用が 51%と最も低く、未婚男性の 35-44 歳 55%と低く、未婚の 25 歳未満が 68%と最も高値であった。

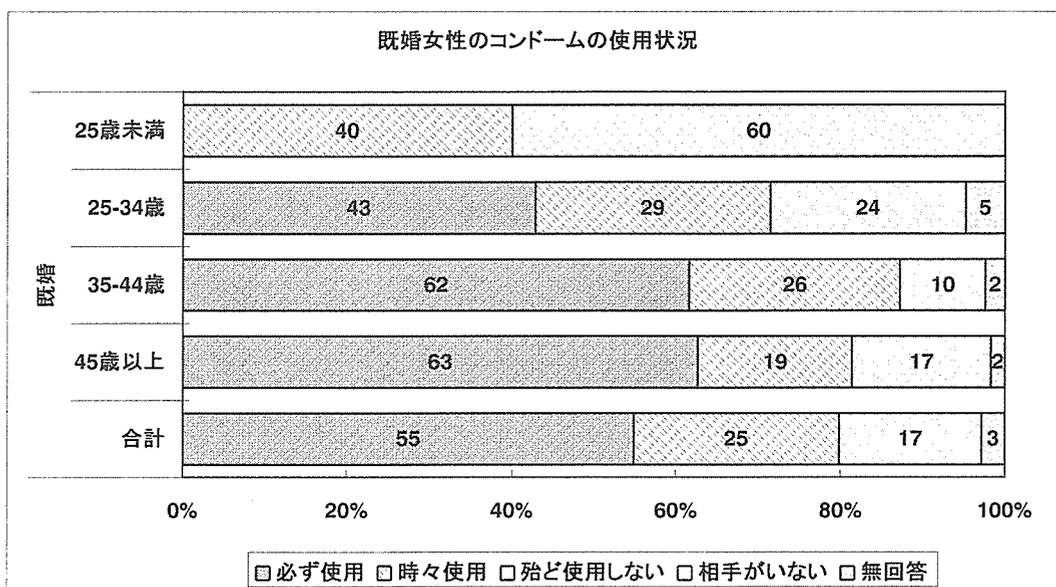
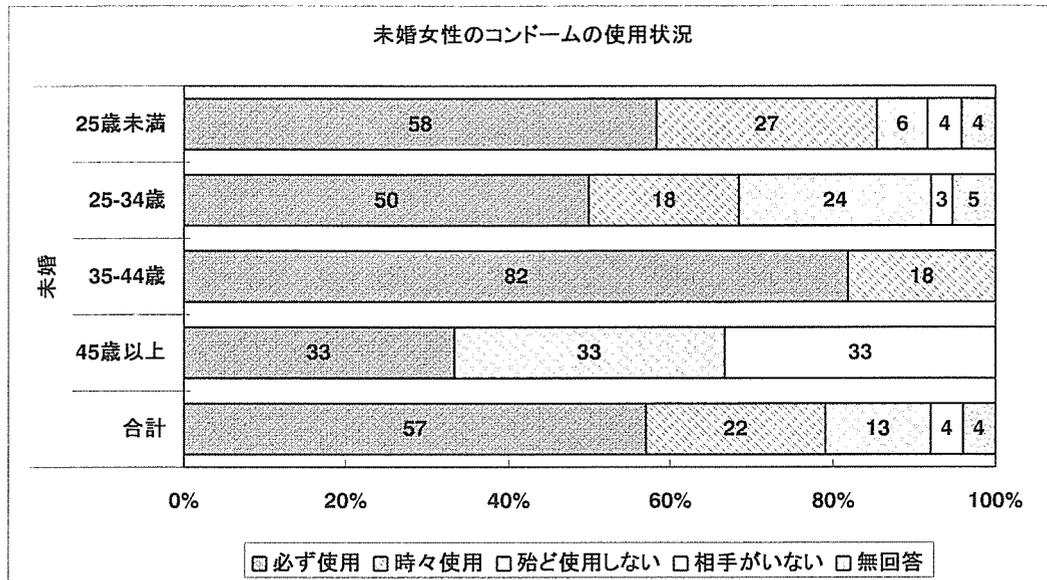
既婚女性の 25-34 歳の必ず使用が 43%であり、以降の世代では 62、63%であったが、未婚女性をみると（45 歳以上は数が 3 名のため検討から除外）、25-34 歳の性成熟期では、必ず使用が 50%で、殆ど使用しないが 24%と他の世代と比べ高値を示していた。

未婚男性のコンドームの使用状況



既婚男性のコンドームの使用状況





2. コンドームの使用状況（非特定パートナーに対して）

コンドーム使用者に対し、決まった交際相手（配偶者を含む）以外とのセックスでは、コンドームの使用状況の問いかけを決まった交際相手と同様にしている。その結果は、「必ず使用」が男性で 31.6%、女性 11.4%、「交際相手はいない」が男性 53.7%、女性 76.5% であり、コンドーム使用の実態が「交際相手がいらない」が多いため把握することが困難と思われた。

表 38-1. 世代別交際相手以外に対するコンドーム使用状況

F1	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用しない	交際相手はいない	無回答	総計
男性	25歳未満	11(26.8)	6(14.6)	1(2.4)	22(53.7)	1(2.4)	41
	25-34歳	30(32.6)	3(3.3)	2(2.2)	55(59.8)	2(2.2)	92
	35-44歳	35(28.9)	10(8.3)	2(1.7)	66(54.5)	8(6.6)	121
	45歳以上	21(39.6)	2(3.8)	5(9.4)	22(41.5)	3(5.7)	53
男性計		97(31.6)	21(6.8)	10(9.3)	165(53.7)	14(4.6)	307
女性	25歳未満	8(15.1)	1(1.9)		41(77.4)	3(5.7)	53
	25-34歳	21(19.8)	3(2.8)	2(7.7)	75(70.8)	5(4.7)	106
	35-44歳	6(5.6)	4(3.7)		85(79.4)	12(11.2)	107
	45歳以上	3(4.5)	1(1.5)	3(4.5)	54(80.6)	6(9.0)	67
女性計		38(11.4)	9(2.7)	5(1.5)	255(76.6)	26(7.8)	333
総計		135(21.1)	30(4.7)	15(2.3)	420(65.6)	40(6.3)	640

そこで、「交際相手がいらない」と「無回答」を除いてその割合を検討してみた。非特定相手とのセックスにおいてのコンドーム使用状況の回答は、男性 307 名に対し対象回答数は 128 名 (41.7%)、女性 333 名中 52 名 (15.6%) であり、男性が有意($p<0.001$)に多かった。そこで「必ず使用」が全体で 75.0%、男性 128 名 (75.8%)、女性 52 名 (73.1%) であり男性が有意差はないものの男性が高値を示していた。「殆ど使用しない」が 45 歳以上の女性に 42.9%と高値を示していた。

表 39-1. 世代婚別交際相手以外に対するコンドーム使用状況

F1	世代	必ず使用	時々使用	殆ど使用しない	総計
男性	25歳未満	61.1	33.3	5.6	18
	25-34歳	85.7	8.6	5.7	35
	35-44歳	74.5	21.3	4.3	47
	45歳以上	75.0	7.1	17.9	28
男性計		75.8	16.4	7.8	128
女性	25歳未満	88.9	11.1	0.0	9
	25-34歳	80.8	11.5	7.7	26
	35-44歳	60.0	40.0	0.0	10
	45歳以上	42.9	14.3	42.9	7
女性計		73.1	17.3	9.6	52
総計		75.0	16.7	8.3	180

未既婚者別にみると対象となる回答者は、未婚男性 63 名 (56.3%)、既婚男性 51 名 (28.3%)、未婚女性 22 名 (22.0%)、既婚女性 22 名 (10.3%) であり、未既婚の男女間でコンドームの使用状況について有意差は認められなかった。

既婚者の男女とも未婚者に比べ「必ず使用」が低く、「殆ど使用しない」が有意差は認めないものの高値を示していた。

表 39-2. 未既婚婚別交際相手以外に対するコンドーム使用状況

F1	F5	必ず使用	時々使用	殆ど使用しない	対象回答者数	(%)	総計
男性	未婚	81.0	15.9	3.2	63	56.3	112
	既婚	76.5	11.8	11.8	51	28.3	180
女性	未婚	86.4	9.1	4.5	22	22.0	100
	既婚	72.7	13.6	13.6	22	10.3	213

3. コンドームを使用する理由

コンドームを使用する理由として、「確実な避妊法」と考えているのが男性は 149 名 (48.5%)、女性は 136 名(40.8%)であり、次に多いのが男性で「STD の予防のため」が男性で 42 名 (13.7%)、女性はずか 17 名 (5.1%) であり、両者間に有意差(p<0.001)を認めた。これを世代別にみると男性はどの世代も 15% ぜんごであるのに対し女性の 25 歳未満の 15.1% に対し 25 歳以上の世代では 5% を下回っていた。「安心できる」男性 40 名(13.0%)、女性 47 名(14.1%)であり、その次に女性は「相手が使っている」9.9%であったのに対し男性は 1 名 (0.3%) と有意(p<0.001)に低値であった。

表 40-1. 世代別コンドーム使用の理由 (男性)

F1	世代	STD 予防のため	確実な避妊法	相手が使っている	コンドーム以外知らない	値段が安い	手に入りやすい	場所においてある	安心できる	よく使われている	なんとなく	この中にな	無回答	総計
男性	25 歳未満	14.6	41.5	0.0	0.0	0.0	7.3	0.0	12.2	14.6	9.8	0.0	0.0	41
	25-34 歳	13.0	46.7	0.0	6.5	0.0	4.3	0.0	14.1	10.9	2.2	1.1	1.1	92
	35-44 歳	13.2	53.7	0.0	3.3	0.0	1.7	1.7	12.4	6.6	0.0	4.1	3.3	121
	45 歳以上	15.1	45.3	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	1.9	3.8	7.5	11.3	53
男性計		13.7	48.5	0.3	3.3	0.0	2.9	0.7	13.0	8.1	2.6	3.3	3.6	307

表 40-2. 世代別コンドーム使用の理由（女性）

F1	世代	STD 予防 のため	確 実 な 避 妊 法	相 手 が 使 う	コ ン ド ー ム 以 外 知 ら な い	値 段 が 安 い	手 に 入 り や す い	場 所 に お い て あ る	安 心 で き る	よ く 使 わ れ て い る	な ん と な く	こ の 中 に な い	無 回 答	総 計
女性	25歳未満	15.1	30.2	7.5	5.7	0.0	3.8	3.8	13.2	15.1	3.8	1.9	0.0	53
	25-34歳	4.7	38.7	8.5	2.8	0.9	4.7	0.0	17.0	5.7	2.8	6.6	7.5	106
	35-44歳	1.9	47.7	11.2	2.8	0.9	7.5	0.0	8.4	9.3	0.9	2.8	6.5	107
	45歳以上	3.0	41.8	11.9	1.5	1.5	1.5	1.5	19.4	4.5	4.5	4.5	4.5	67
女性計		5.1	40.8	9.9	3.0	0.9	4.8	0.9	14.1	8.1	2.7	4.2	5.4	333
総計		9.2	44.5	5.3	3.1	0.5	3.9	0.8	13.6	8.1	2.7	3.8	4.5	640

未既婚別にみると男女ともに「確実な避妊法」がもっとも多いものの既婚者の方が高値を示していた。次に多いのが「安心できる」で男女ともに未婚者が多かった。「STD 予防のため」が男性は未婚 14.3%、既婚 10.6%であったのに対し、女性は未婚 10.0%、既婚 1.9%と有意(p<0.01)な差を認めた。

表 40-3. 未既婚別コンドーム使用の理由

F1	F5	STD 予防 のため	確 実 な 避 妊 法	相 手 が 使 う	コ ン ド ー ム 以 外 知 ら な い	値 段 が 安 い	手 に 入 り や す い	場 所 に お い て あ る	安 心 で き る	よ く 使 わ れ て い る	な ん と な く	こ の 中 に な い	無 回 答	総 計
男性	未婚	14.3	45.5	0.0	3.6	0.0	4.5	0.9	15.2	9.8	4.5	0.9	0.9	112
	既婚	10.6	53.3	0.6	3.3	0.0	2.2	0.0	11.7	7.2	1.7	3.9	5.6	180
女性	未婚	10.0	38.0	7.0	4.0	0.0	4.0	2.0	16.0	12.0	1.0	3.0	3.0	100
	既婚	1.9	43.2	11.7	2.8	1.4	5.2	0.5	11.7	7.0	3.8	4.2	6.6	213